

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

お知らせ 住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

公告方法 電子公告により、当社ホームページ
(<http://www.advanced-media.co.jp/ir/>)
に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



2010 AMI Report



第13期 年次報告書 2009.04.01～2010.03.31

Corporate Data

会社概要 (2010年6月29日現在)

会社名 株式会社アドバンスト・メディア
設立 1997年12月
資本金 45億8,509万円
取引銀行 三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、他
所在地 本社 〒170-8630
東京都豊島区東池袋3-1-4
サンシャインシティ文化会館6階
Tel:03-5958-1031 (代表)
Fax:03-5958-1032

連結子会社 AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ)
業務提携先 Multimodal Technologies, Inc. (米国)
(持分法適用関連会社)



株式会社アドバンスト・メディア

証券コード：3773



Review of Operations

営業の概況

当社グループは、2008年5月15日付発表の「中期経営計画」に基づき、当連結会計年度の目標である「収益力の向上」ならびに「成長分野への挑戦によるコアドメインの拡大とサービス型ライセンス事業による安定収益モデルの確立」の達成に向け、各施策を実施してまいりました。

売上に関しては、コアドメインのひとつである医療分野において、オンライン請求義務化等に起因する新規投資手控えの影響を受け、主力商品の販売が落ち込みました。一方、その他の分野については、当初計画通りにほぼ推移いたしました。議事録分野においては、東京都議会での全12委員会一括導入という大型案件を獲得いたしました。金融・製造分野においては、みずほ情報総研株式会社との共同マーケティング等の効果により新たな大手金融機関での案件を獲得いたしました。モバイル分野および教育・エンターテインメント分野においては、サービス型ライセンス事業の収入が伸びました。

Human Communication
Integration の実現

アドバンスド・メディアは、「機械」との自然なコミュニケーションを実現し、豊かな未来を創造します。

To Our Shareholders

株主・投資家の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、当社第13期年次報告書をお届けし、当社事業概況のご理解の一助となれば幸いです。

当社は「Human Communication Integrationの実現」を基本理念とし、音声認識技術 **AmiVoice®** をコアとした新しい価値の創造を行ってまいりました。今後も人が機械に自然に意思を伝えられるソフトコミュニケーションの時代を実現すべく、有用な最先端技術を広く社会へ普及させ、その実用化を通して、社会にとって、人にとって、真に「楽しく」「役に立つ」「ないと困る」世界の実現を目指してまいります。

一方で、このような当社基本理念を実現していくためには、平成20年5月に発表した「中期経営計画」に基づき売上と収益を安定的に拡大させる必要があります。「中期経営計画」最終期である平成23年3月期においては、売上の増大による収益の拡大の端緒となるよう、また、企業価値のさらなる向上に繋がるよう事業を推進させてまいります。

今後とも、株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月
代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

連結業績概況

●売上高



●経常利益 (損失)

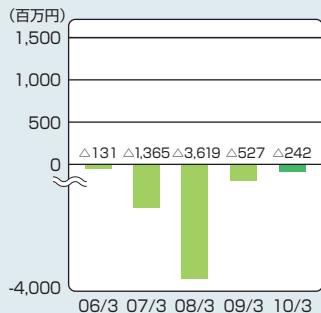


※2009年3月期における売上高、2008年3月期における総資産・純資産の減少は、経営改善計画に基づくグループ会社整理によるものです。

損益に関しては、受注プロジェクトの峻別、プロジェクトの進捗管理の徹底、案件の大型化に伴うライセンス収入の増大等により、当初計画以上の売上高総利益率の改善が進みました。また、販売費及び一般管理費の抑制についても継続的に取り組んでまいりました。それらの取り組みの結果、第4四半期連結会計期間については、四半期ベースではありますが営業利益を創出することができ、「中期経営計画」を確実に進捗させ収益力を向上させております。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,247百万円（前年同期は売上高1,090百万円）、営業損失は356百万円（前年同期は営業損失595百万円）、経常損失304百万円（前年同期は経常損失557百万円）、当期純損失は242百万円（前年同期は当期純損失527百万円）と前年同期と比較し堅調に売上高を伸ばし当初計画以上に損失を縮小いたしました。

●当期純利益（損失）



●総資産・純資産



1

株式会社ニチイ学館と資本業務提携

2009年8月7日付で、株式会社ニチイ学館と資本業務提携契約を締結し、同社の顧客基盤・事業ノウハウ・インフラ等と当社の音声認識技術 **AmiVoice®** を融合させ、医療・介護・教育の各分野において医療・介護現場の業務効率化・IT化のサポート、新たな教育講座開発等を実現していく予定であります。具体的な資本業務提携の一環として、医療分野における音声の自動テキスト化を利用した新しい事務代行サービスの展開を目指して、株式会社サイバークラーク研究所に株式会社ニチイ学館と共同で出資し（現在、株式会社ニチイ学館の子会社）、事業開発に着手いたしました。

2

音声認識を活用したコールセンタ向け音声統合ソリューション『AmiVoice® Communication Suite』（アミボイスコミュニケーション スイート）を開発

当ソリューションは、日本で初めて、お客様の声を要約・分析し、経営に活用させることができる音声認識技術を活用したコールセンタ向け情報システムです。コールセンタは、お客様の声活用の最前線であり、企業戦略上も重要な拠点と位置付けられながら、生の声である通話音声データについてはその活用に限界がありました。当ソリューションでお客様との接点となるコールセンタ業務でのより一層の顧客満足度向上やコンプライアンス対応強化ならびにコスト削減も含めた業務効率化にも役立てて頂くことが可能となりました。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

| (単位：千円) | 当期 | 前期 |
|--------------|--------------|--------------|
| | 2010年3月31日現在 | 2009年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 1,760,298 | 1,688,790 |
| 固定資産 | 574,098 | 441,413 |
| 資産合計 | 2,334,397 | 2,130,204 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 296,048 | 269,054 |
| 固定負債 | 6,592 | 8,723 |
| 負債合計 | 302,640 | 277,777 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 2,089,755 | 1,917,536 |
| 資本金 | 4,585,097 | 4,377,595 |
| 資本剰余金 | 3,577,231 | 3,369,728 |
| 利益剰余金 | △6,072,573 | △5,829,787 |
| 評価・換算差額等 | △57,998 | △70,879 |
| 新株予約権 | — | 5,768 |
| 純資産合計 | 2,031,756 | 1,852,426 |
| 負債及び純資産合計 | 2,334,397 | 2,130,204 |

連結損益計算書（要旨）

| (単位：千円) | 当期 | 前期 |
|--------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 自 2009年4月 1 日 至 2010年3月31日 | 自 2008年4月 1 日 至 2009年3月31日 |
| 売上高 | 1,247,470 | 1,090,511 |
| 売上原価 | 504,302 | 475,494 |
| 売上総利益 | 743,168 | 615,017 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,099,688 | 1,210,097 |
| 営業損失 | △356,520 | △595,079 |
| 営業外収益 | 60,261 | 39,158 |
| 営業外費用 | 8,612 | 1,301 |
| 経常損失 | △304,871 | △557,222 |
| 特別利益 | 69,276 | 3,754 |
| 特別損失 | 776 | 1,559 |
| 税金等調整前当期純損失 | △236,371 | △555,027 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,415 | 8,867 |
| 法人税等調整額 | — | △36,788 |
| 当期純損失 | △242,786 | △527,106 |

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

| (単位：千円) | 当期 | 前期 |
|------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 自 2009年4月 1 日 至 2010年3月31日 | 自 2008年4月 1 日 至 2009年3月31日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △197,627 | △461,517 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △363,675 | △41,312 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 404,183 | 350,556 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △8,951 | △796 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △166,070 | △153,070 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,384,249 | 1,537,320 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,218,179 | 1,384,249 |

Stock Information

株式の状況 (2010年3月31日現在)

| | |
|----------|----------|
| 発行可能株式総数 | 358,000株 |
| 発行済株式の総数 | 152,602株 |
| 株主数 | 16,872名 |

大株主（上位10名）

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|-----------------------------------|----------|---------|
| | 持株数(株) | 持株比率(%) |
| 鈴木 清幸 | 10,700 | 7.01 |
| 株式会社ニチイ学館 | 10,250 | 6.71 |
| 伊谷 秀隆 | 3,970 | 2.60 |
| 大阪証券金融株式会社 | 1,992 | 1.30 |
| 富士通マイクロエレクトロニクス株式会社 | 1,500 | 0.98 |
| 株式会社SBI証券 | 910 | 0.59 |
| サン・クロレラ販売株式会社 | 850 | 0.55 |
| メルリリンチ インターナショナル エクイティ デリバティブス | 763 | 0.49 |
| 菊岡 健 | 750 | 0.49 |
| 野村證券株式会社 | 727 | 0.47 |